

編入学試験 小論文（海外 A）模範解答例

筆者は韓国からの訪日観光客のために、長崎県佐世保市の黒島で行うアドベンチャーツーリズムを提案したい。佐世保市の黒島は、相浦港からフェリーで50分の場所にある。黒島には黒島天主堂があり、島全体が世界遺産の構成資産である。一方で黒島にはコンビニもなく、不便さがある。しかしこの不便さを上回る自然と文化の魅力がある。

黒島の自然で注目すべきは、豊かな森と地形である。黒島の北側に黒島神社がある。この神社の周囲にある社叢は、古代から続いていると言われる。また黒島の周囲は崖になっていることも特徴である。こうした黒島の地形を展望台から眺めることもできるし、船に乗って島の周囲をクルージングして、地形を実感することもできる。

黒島の自然を体験するための交通手段として、電動アシスト機能付きの自転車がお勧めである。黒島港にある観光案内所でレンタルすることができる。この観光案内所ではスロモビリティ（電気自動車）と電動スクーターも借りることができる。しかし黒島の清々しい空気を体感したり、興味深い場所を見つけたりするには自転車が最適である。

黒島では、島豆腐とふくれ饅頭という食文化を体験することもできる。島豆腐の材料に大豆を使うことは、店で売られている豆腐と同じである。しかし豆腐を固めるのに海水を使うことが特徴である。ふくれ饅頭は、黒島に生えているサンキライという葉に包んで蒸すところが特徴である。素朴だが新鮮な素材の味わいと、食べ物づくり体験で島の人たちとの会話を楽しむことができる。島豆腐づくりでもふくれ饅頭づくりでも、黒島の住民の人たちの技術の高さを注目すべきである。

黒島は、佐世保市の港から船で1時間弱の場所にある。佐世保市の本土では見られない自然と食文化、住民の人たちの生活の技術の高さも実感できる。都会の観光では出会うことのできないアドベンチャーツーリズムを経験することができる場所である。

(796字)